

# 「えのくま日記」三十八号

平成二十六年五月 〰 平成二十六年六月

「年中児わくわくどきどき保育」

石野 博美（年中わかば組担任） 日記

年中児は、大分市マリンパレス水族館『うみたまご』へ遠足に出掛けました。当日は曇り空でしたが、とても過ごしやすい天候で、行きのバスから大はしゃぎの子どもたちでした。うみたまごでは、館内を見学し様々な魚の生態を観察し、セイウチやイルカのショーを鑑賞して楽しい一時をお友だちと一緒に過ごしました。普段は近くで見る事や触れる事の出来ない生物にも触れ、五感を通して様々な思いを味わったようでした。

夕方に幼稚園に戻り、全員でカレー夕食を頂きました。たくさん歩いてお腹も空いていた子どもたちは、おかわりもして、デザートのフルーツポンチもペロリと平らげました。



「年長なぎさ組さんの一週間」

武生 香里 (年長なぎさ組担任) 週案日誌より

☆四月二十八日(月)「ルールのある遊び・かぶと製作」

今日は室内で「じゃんけん列車」を行った。事前にルールを確認すると、ほとんどの子どもが、しっかりとルールを理解することができていた。しかし、中にはルールを理解出来ず、いまいち遊びを楽しめていない子どもの姿も見られた。午後からは、かぶと製作を行った。保育者の真似をしながら、自ら折り進めていく姿が見られた。自分で作ったということで愛着もあり、すぐにかぶってみる子どもの姿も多くあった。

☆四月三十日(水)「誕生会」

今日は四月生まれの誕生会を行った。誕生児の子ども、そうでない子どもも今年度、初めての誕生会をワクワクした様子で迎えているように感じた。元気に歌を歌ったり、拍手をしたりして祝う事ができていた。誕生児の3名もステージ上で、とっても堂々としていた。早帰りということもあり、少しバタバタするところもあったが、おやつも嬉しそうに食べていた。

☆五月一日(木)「子どものお祝い集会・戸外遊び」

今日は「子どものお祝い集会」を行った。自分で作ったかぶとをかぶり、集会への期待をより一層高めていた。歌をうたったり、玉入れやトンネルをくぐったりと、とても楽しそうにしていた。由來のクイズの際、砂遊びをしている子どももいたので、視覚的に訴えるなど、もう少し工夫すれば良かった。午後からは、戸外で思い切り遊んだ。虫探しをしたり、一つの遊びを友達と一緒に楽しんだり・・と思いいいに遊びを楽しんでいた。

☆五月二日(金)「裸足遊び・サファリに行こう!」

今日は午前中、裸足遊びを行った。早くしたいということで朝の会からソワソワする子どももいた。砂・泥・水を使ってダイナミックに遊びを楽しんでいた。午後からはサファリ遠足に向けて「サファリに行こう!」の活動に取り組んだ。今回は大きな紙に動物の絵を描いた。各グループそれぞれの個性が出ていた。

「玉ねぎのお味噌汁、おいしい〜!」

山住 静香 (年中そら組担任) 日記

五月八日(木)は、今年度初めてのお弁当日でした。朝から、「ママがお弁当作ってくれたよ!」と嬉しそうにする子どもたち。グループのお友だちと一緒に座り、楽しく食べることが出来ました。また、先日、年中組が収穫した玉ねぎをお味噌汁にして、お弁当と一緒にいただきました。大きなお鍋に入ったお味噌汁をお椀について、子どもたちの元に届けると、子どもたちからは「おいしそう〜!」と歓声が上がりました。中には、「先生、玉ねぎおいしいから、おかわりしたい〜!」と何度もおかわりをする姿も見られました。普段はなかなか野菜が進まない子どもが、お味噌汁を食べようか悩んでいると、「この玉ねぎ、おいしいけん食べてみよ!」と声をかける子どももいて、とても微笑ましく感じました。これからも、えのくまファームでの活動や昼食時間を通して、子どもたちが【食】についての興味を持てるよう、かかわっていききたいと思います。

(五月八日)

「カンガルーの親子」



園長日記

年長さん達のアフリカカンサファリ遠足は、五月晴れの絶好の天候に恵まれて楽しい一日となりました。子ども達に大人気だったのは小象の「チョイ君」一歳と、カンガルーの赤ちゃんでした。「チョイ君」はジャングルバスの車窓から眺めるだけでしたが、カンガルーの赤ちゃんは、お母さんカンガルーのお腹の袋に入っていて、時おり子ども達の前に出てきては「かわい〜」の大歓声を受けていました。

飼育係のお姉さんにお尋ねすると、お母さんカンガルーはこれまでに五匹のカンガルーを

産みましたが、全て女の子であったとのこと。休む時は、娘達がお母さんカンガルーの周りに集まりますが、お父さんカンガルーとのつながりはとても薄いとのことでした。子ども達の「ママがいい！」の声、またもや聞こえてきそうでした。

(五月八日)

「気持ちのいい役員決め」

末田 祥子 (年少ゆき組担任) 日記

五月十四日(水)、年少組にとって初めての保育参観がありました。この日は、役員決めの日でもありました。皆さん、様々な思いで役員決めの時間を過ごされたと思いますが、ゆき組では、立候補という形で、役員さんに一人手を挙げてくれました。その流れで、気持ちよくもう一人の方が手を挙げてくれました。気づけば、五分もせずに他の実行委員さん等も全て立候補で決まり、とても驚いたのと同時に、嬉しい気持ちも聞かれ、今年一年、また良い雰囲気です。「できることはお手伝いします」と、協力的な言葉も聞かれ、今年一年、また良い雰囲気です。スタートできそうです。

(五月十四日)



「感謝状」

父母の会総会では、旧会長の西郡典子さんから新会長園田杏奈さん、副会長佐藤幸子さんが紹介され、保護者の皆様の承認を受けました。新任の挨拶を、少し恥ずかしそうにされる姿を微笑ましく拝見いたしました。

旧会長の西郡典子さんや副会長の中村智子さんをはじめ、旧役員や実行委員の皆様には大変お世話になりました。各種の園行事をバージョンアップしながら取り組んでいただきました。何事につけ組織の長を務めるのは大変気苦労が多かったと思いますが、皆さん方をよくまとめて活動を盛り上げてくれました。総会終了後に一年間のお二人の、運動会や夕涼み会、えのくま幼稚園まつりなどのご活躍の姿を思い浮かべながら、お礼の感謝状をお渡ししました。ありがとうございます。

(五月十四日)

「六年目の一大決心」

園田 杏奈 (年長ほし組保護者) 日記

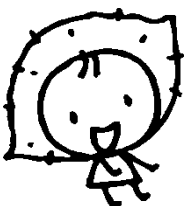
今年度、会長を務めさせて頂くことになりました園田です。長女、長男に続き次男。子どもと共に私もおえのくま幼稚園に通い続けて六年目。今まで役員なんて・・・と避けて来ましたが、今年で園生活が最後になると思うと「役員を受けてみようかな」と思っていました。さすがに、会長の大役を任せられるとは予想外でしたが・・・

初めての役員で、まさかの会長。仕事もあるし不安は沢山あります。でも、やると決めたからには精一杯頑張ります。楽しい思い出の一ページに！息子の「カッコいい自慢のママ」を目指して！頼りない所も多々ありますが、一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

(五月十五日)

「五月のえのくまファーム二話」

えのくまファームのお爺さん日記



☆一話「年少さんのサツマイモ」

年少さん達が十五日、サツマイモの苗植えをしました。植える前に、子ども達の前で、実際に苗を植えてみせました。「葉っぱを取ってはダメだよ、土を被せたら優しく押えるんだよ」と伝えた後、全員が一斉に植え始めました。七十名近くの子とも達が八列に並んで植える姿は壮観でした。植え終えて、子ども達が引き揚げた後の「えのくまファーム」のイモ畑は、それはそれは子ども達の独創的な思いの表現された畑となりました。葉がすべてむしられて無くなっている苗、土に完全に埋まっているもの、お花のように一本立ちしているもの、土がほとんどかけられていないものなど様々でした。バスの先生達と、

手直しをしながらイモ苗を救出しました。「大きくなくれ、大きくなくれ」の子ども達の願いが十月に叶うように頑張らねばと思っています。  
(五月十五日)

#### ☆二話「年長さんのエンドウ豆収穫」

五月晴れの気持ち良い十六日の午前中に、年長さんがエンドウ豆の収穫をしました。今年は大豊作の予感がありました。八十九名の子ども達に十分いきわたるか少々不安でした。バスの先生達がエンドウをツルごと引き抜いて、子ども達の前に運んでくれて、いよいよエンドウ豆の収穫です。子ども達が歓声を上げながら手でエンドウ豆のサヤを一つひとつ千切っては近くのバケツやタライに入れていきました。すぐに幾つかのバケツがエンドウで一杯になりました。

予想した以上の大豊作で、子ども達は、これまでの最高の収穫をすることができました。子ども達の喜びの笑顔を見れて本当に良かったです。  
(五月十六日)

#### 「誕生日」

波多野 幸子(副園長・教頭) 日記

新園舎の二階から見ると園庭は、イチヨウや桜の若葉がさわさわと風にゆらぎ、明るい日差しをあびて色とりどりの帽子が、跳んだり跳ねたり元気いっぱい動いています。

五月は学園創立記念日があり、十六日に「幼稚園の誕生日」として、全園児でお祝いの集会を持ちました。創立者の後藤松夫先生の写真を壇上に飾り、園長先生のお話がありました。元気でおられたら今年で百歳を迎えられる松夫先生。五月晴れの空のもと、子どもたちの笑顔や歓声で満たされた、この美しい園庭を心から見ていただきましたかと思えました。そして、永遠にこの光景が続くように見守っていてほしいと願いました。

\*余談です… 五月は私の誕生日でもありました。二人のお友だち(年長・年少の兄妹)が、ハッピーバースデーの歌をうたってくれ、朝から涙腺が緩みました。本当に嬉しかったです。  
(五月十六日)

#### 「月曜日、朝のえのくま幼稚園」



園長日記

月曜日の子ども達のお楽しみは、お母さん達の絵本の読み聞かせです。各クラスにお母さん達が入り、数冊の絵本を読んでもくれます。子ども達は全員坐って、食い入るように絵本やお母さん達の読み聞かせを聞いています。

短いけれど楽しい読み聞かせが終わると、園庭で「元気集会」です。260名の子ども達が赤、青、ピンクなどのカラー帽を被りクラス毎に整列します。本日は松原はる菜先生が担当で、子ども達に人気の「だんご虫」のお話でした。聞く態度が前回に比べて随分と良くなりました。お話しの後には「ゆかいな牧場のダンス」「イエイ、イエイのダンス」で体を存分に動かしました。「元気集会」などの集団行動や「読み聞かせ」は子ども達の学習や規範意識を深めるとも大切な活動です。日常の色々な活動や体験をとおして子ども達が成長します。本日の朝も、子ども達の成長を実感することができました。  
(五月十九日)

#### 「初めての読み聞かせ」

松尾 ハルエ(年中わかば組保護者) 日記

四月から年中わかば組に通うようになり、親子共々初めてのことばかり。読み聞かせボランティア「えのっこクラブ」の事を知り、少し悩みながら参加することに決めました。五月十九日の朝、ドキドキしながら子ども達の待つ教室へ。「大ちゃんのお母さんだあ〜！」と目を輝かせて待っていてくれました。

最初はドキドキでしたが、子ども達の反応を見ると、みんなと一緒に話しを楽しんでいるという気持ちになれて、私もとっても幸せな気持ちになりました。読み終わると「大ちゃんのお母さん、ありがとう！」と元気に言ってもらえて、とってもうれしかったです。息子もとってもうれしそうで、また来たくくなりました。  
(五月二十一日)

「なかよし遠足と静香先生」

園長日記

七瀬川自然公園に、親子合わせて五百五十名程が参加して「なかよし遠足」が行われました。広い公園ですので空間的なゆとりは十分ありました。十クラスの子どもの達の色とりどりのカラー帽の集団や親子の笑顔の触れ合いは、見ていてとても楽しく心が和みました。

今回の「なかよし遠足」の全体指導は静香先生が担当しました。明るく楽しく大きな声で「なかよし遠足」に集まった全ての人達を、楽しい触れ合い行事に誘導しました。保護者も子ども達も、静香先生のアナウンスを良く聞いて規律ある活動になりました。スピーカーから流れる静香先生の声を聞きながら、二百五十三名の子どもの達一人ひとりの親子の触れ合いの様子を拝見しました。こんなに楽しく幸せな場面に立ちあえて、とてもハッピーです。

(五月二十三日)

「バスの中で」

岩武 まどか(全クラスサポート教員) 日記

幼稚園までバスで行く子どもたちは、バスに乗ってから今日の一日が始まります。子どもたちは大きく元気な声で「おはようございます」と言ってからバスに乗って来ます。お母さんに「いってきます」と手を振ったあと、すぐに近くの席のお友だちと「昨日はこんなことしたんだ」などとお話しに花が咲きます。また、「今日は〇〇ちゃんお休みだね」「次は〇〇くんが乗って来るね」と学年を問わず色んなお友だちの名前を覚えたり、お話ししている姿を見て、バスの中で友だちの輪がだんだんと広がっていくのを微笑ましく思いました。

(五月二十六日)

「初めてのプレゼント」

長友 留美(年少ゆき組保護者) 日記

あの日、いつもより笑顔で息子は帰って来ました。「お母さんにプレゼントがあるよ。」と言って差し出した物は、母の日のプレゼントでした。「待ってました。キター！」と大喜びの私。私は息子から初めて手作りのプレゼントをもらいました。私の似顔絵入りのペンダントです。ちよつと笑ってしまうような似顔絵でしたが、首にかけてみると息子は、はじけるような笑顔を見せてくれました。二人で一緒に、ここにこ笑ってとても幸せな気持ちになりました。

入園当初、バスに乗る時、涙ぐんでいた息子ですが、今は笑顔で「いってきます」と言って出掛けて行きます。帰って来ると、一日の出来事を笑顔で話してくれたり、日々息子の成長を感じています。これも、ひとえに先生方のお陰です。息子の笑顔のおプレゼントをいつもありがとうございます。

(五月二十八日)



「赤ずきんちゃん」

園長日記

五月誕生会での先生の出し物は、武生香里先生のエプロンシアター「赤ずきんちゃん」でした。ステージにエプロン姿で立つ香里先生が、ポケットから可愛らしい「赤ずきんちゃん」を取り出して語り始めると、子ども達は一瞬にして香里先生のエプロンシアターの虜になりました。全ての子ども達の視線は香里先生と「赤ずきんちゃん」に集中しました。

オオカミが老婆ちゃんと「赤ずきんちゃん」を飲み込んでベッドで寝てしまったところを猟師さんが見つけ、オオカミのお腹から二人が無事に助け出されてお話しは終わりましたが、子ども達はもちろん、誕生児の保護者の方々や教職員も感銘を受けました。県立図書館に行つてエプロンシアター「赤ずきんちゃん」を借り受け、一人稽古をして臨んだ香里先生の熱意が多くのお客さんを魅了し、楽しい誕生会となりました。

(五月二十九日)

「笑顔でバイバイ作戦 続行中です」

矢吹 早苗（年少ゆき組保護者） 日記

0歳から保育園に通っていた息子は、三人兄弟の末っ子です。「昊大くんは、すごく楽しんで行きそう」という周囲の声をよそに、四月中は「母ちゃんとずっと一緒がいい・・」とぼやきながらの登園でした。五月になり、その眩きは泣き声へと変わり、ここ数日は体でも表現（つまり大暴れ）するようになりました。

この別れの涙が一瞬のものであることは、経験上分かっていること。しかし、たとえ三人目であっても、別れの儀式は気が重いものです。そこで毎朝、笑顔でバイバイできるような策を練ってはいるのですが、今のところ勝率は五割といったところ。お迎えの時の笑顔や、小麦色に焼けていく肌、そしてパンツまで泥だらけの服を見るたび、思いきり遊んでいる姿が目には浮かびホッとしています。こんな母子の戦いの行方を笑顔で見守って下さる先生方には感謝の毎日です。そして「わが子の笑顔よ少しでも多かれ」と願いをこめて、母は今日も作戦を練るのです。

（五月三十日）

「みかん先生」

松本 美香（年少はな組担任） 日記

子どもたちを見ていると、思わずクスツと笑ってしまう瞬間があります。それは子どもたちの可愛い言い間違いです。『上靴』を『長靴』、『つばめ』を『すずめ』と言ってしまった時には、つい笑ってしまう事があります。そんな中で私の名前は、あまり間違えられることは無かったのですが、最近『みかん先生』と呼ばれています。初めは私の聞き間違いかと思いましたが、やはり何度聞いても『みかん先生』となっています。毎日笑ってしまいがら『みかん先生だよ!』と訂正していますが、なかなか『ん』が取れないようです。早く『みかん先生!』とみんなが呼んでくれるのを期待しています!

（五月三十一日）

「わくわくどきどき保育と静香先生」

園長日記

えのくま日記の同一号で二度も静香先生を取り上げました。しかも二度とも遠足がらみの内容です。今回の内容は、子ども達の記憶に長く残るのではと思います、静香先生の勇気を称えつつ、状況を記します。良い子の皆が、大きくなった時、「わくわくどきどき保育」を思い返してもらったら幸いです。

うみたまごでのセイウチ（体重七百キロ以上）のショーを見ていた時に、飼育員さんからショーのお手伝いをして欲しいとのお願いがありました。すると多くの園児が手を上げました。余りに数が多いので、飼育員さんが「園児さんの希望者が多く決めるのが難しい。では先生、どなたか一人お手伝い下さい。」という展開になりました。突然の依頼に、先生達は大変困感しましたが、最終的には視線の多くが静香先生に集まりました。

園児を含めて二百名を超えるお客さんの前で、逃げ出すわけにもいかず、静香先生は教師としての使命感から、不安や恥かしさに耐えながら餌やりなどのお手伝いをしました。ショーの最後には、セイウチのミーちゃんから感謝のキスを受け、目を丸くして驚く静香先生に大歓声とねぎらいの拍手が沸き起こりました。

（六月二日）



「かわいいにおい？」

山住 静香（年中そら組担任） 日記

年中組で出掛けた『わくわどきどき保育』。今年ほうみたまごでたくさんのお話を観察したり、ふれ合ったりしました。園長先生のお話にもあるように、私は、シヨーに参加することとなり、ハラハラドキドキ。なんとか場が盛り上がりつつ一安心したのですが…。では、先生！最後にセイウチのミーちゃんからプレゼントがあります！キスと握手の2つがありますが、前の女の子が握手をしたので：先生ならわかりますよね♪。まさか。まさかまさか！断る事もできず、しゃがんで目を閉じる私。うつすら目を開けると迫り来るミーちゃんの口：「うわあ〜！」と思った瞬間：わさわさとひげが私の頬にあたり、ちゅうくとなくなってしまいました。思わず体がのけぞって、ふと口に手を当てると、お魚さんの素敵なにおいが漂いました。園に戻っての体験発表。Hくんが「かわいいにおい」と言っていたセイウチのにおいは、私にとつて忘れられないにおいとなりました。

（六月二日）

「だいいじなはなし」

山田 恵（年中にじ組担任） 日記

「恵先生おはよう！一緒に遊ぼう！」目に涙をたくさん浮かべて不安いっぱい表情で登園してきていた姿はどこへやら。今日も朝から汗びっしょりになるまで元気いっぱい駆け回っています。私も子どもたちに負けないように園庭で必死に鬼さんから逃げていると、Jくんが近寄ってきて「先生…。どうしても大事なお話がある。」と。不思議に思い、首をかしげると、「先生、耳かして。あのね、ミニトマトの赤ちゃん！緑のやつがなつたという大事な話をしたよ！」先日植えたミニトマトの苗に小さな赤ちゃんトマトがなつたという大事な話をしてくれたのです。お話しているうちに鬼さんからはつかまっちゃったけど、その発見と報告が嬉しくて、みんなでミニトマトの様子を観察しに行きました。収穫までがとても楽しみになりました。

（六月三日）



「紙芝居の思い出」

園長日記

六十年程前の大分は戦時中に焼夷弾で多くの家屋が焼失し、至る所に空き地があり、子ども達の格好の遊び場となっていました。そこに自転車に乗った紙芝居のおじさんが現れると、子ども達が群がりました。

「ただ見はだめだぞ！」の声に、多少の後ろめたさを感じながらも紙芝居を楽しむにしています。当時、紙芝居を見るのに五円（パンが一個十円でした）払っていました。お金を持っていなかった私を含めた子ども達は、遠くから紙芝居を見ていました。紙芝居のおじさんは、そうした子ども達を追い払うこともなく、大目に見てくれました。生活のかかった職業人としての紙芝居屋さんが、子ども達の輝く瞳をむげに排除しなかった優しさを「雨が降ったら紙芝居」をしながら感じ、昔を懐かしく思い返しながら紙芝居のお爺さんをしています。

（梅雨入り間もない雨の六月四日）

「しゅくだい」

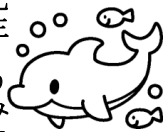
石野 博美（年中わかば組担任） 日記

私は絵本が大好きで、保育士になってから二か月に一冊は絵本を購入しています。好きな絵本の一つに、いもとようこさん作の『しゅくだい』という絵本があります。とても心温まる素敵なお話です。

私も時々、子どもたちに「しゅくだい」を出します。そんなに難しい事ではなく、「お母さんに〇〇を伝えてね」や「お風呂で十まで数えてくる」といった些細な事ですが、子どもたちは喜んで「は〜い」と返事をし、翌日には「先生、ちゃんとしゅくだいしてきたよ」と報告してくれます。私が子どもの頃は嫌でたまらなかつた宿題も、子どもたちにとっては嬉しいお土産のようです。これからも、ちよつとした「しゅくだい」を出して子どもたちとのかわりを楽しみたいと思います。

（六月五日）

「うみたまご(うごご)」



林 裕美子 (年中ことり組担任) 日記

うみたまごに行つた次の日から、「先生!うみたまご作ろう!」と、とても張り切つていました。「トンネルみたいなのも、あつたなあ。」私、イルカのショーする人になりたい!」と、自分の、やりたい事をしっかりと持っているのに驚きました。「先生早くお客さん呼ばんの?」と、毎日のように楽しみにしていた、ことり組さん。

当日、イルカチームは、本物のイルカのようにキーキー言つてジャンプしたり、ボールを取りに行つたり・・・「次は、このトンネルを通つてください!」と、誘導する係りが声を出し、私の手をほとんどかき切る事無く、楽しみながら進めていきました。他のクラスのうみたまごも見る事ができ、刺激になったようです。終わった後、「たくさん来たけん疲れたけど、楽しかったな!」と、満足げでした。  
(六月六日)

「パパ先生」

波多野 幸子 (副園長・教頭) 園日誌より

今年度最初の「パパ先生」は、梅雨の晴れ間に恵まれて賑やかな歓声が園庭に響いた。今回はコーナーではなく、全体でミニ運動会の雰囲気で綱引きや玉入れ等を楽しんだ。体を動かし、園児もパパ達も汗びっしょりになった。その分、後に全員で飲んだリンゴジュースは最高に美味しかった。

初めて参加の父親・兄、姉の時から参加して頂いた父親、本当にたくさんの方が協力してくれた。自分の子どもだけでなく、色んな子どもと手をつないだり、話しかけたりと、お父さん方が一生懸命かわらうとする姿は見ていて嬉しくなる。  
(六月七日)



「パパ先生からのメッセージ」

七日(土)のパパ先生は、短い時間でしたが、とても楽しく爽やかな触れ合いが出来ました。お越しいただいたパパ先生のメッセージを紹介いたします。

☆能丸 勇樹パパ先生 (年少ゆき組・年長なぎさ組保護者)

今回、初めてパパ先生に参加させて頂きました。日頃家では見せる事のない色んな顔を見ることができてとても楽しい時間を過ごせました。そして、子ども達の太陽にも負けないくらいの元気パワーの凄さを改めて思い知らされました。毎日子ども達のお世話をし下さってる園の先生方に改めてお礼を申し上げます。これからも子ども達をよろしくお願ひ致します。

☆匹田 利明パパ先生 (年長つき組保護者)

今回、初めてパパ先生に参加しました。クラスの子とも達が「ゆうと君のパパまたきてね」と言われ、参加してよかったです。また機会があれば参加したいです。ありがとうございます。

☆中村 昭伸パパ先生 (年中わかば組保護者)

玉入れなど、一つひとつの勝負に熱中する子どもたちの姿に、私も一緒になつて盛り上がりました。クラスの友だちと仲良く活動する我が子に、成長を感じました。

☆前橋 克彦パパ先生 (年中ことり組保護者)

今回も楽しい時間を過ごさせて頂きました。子ども達の笑顔に触れることができ、こちらも自然と笑顔になることができました。たくさん園児が私に話しかけてくれたので、とても嬉しい気持ちになりました。次回も参加して、子ども達の笑顔に触れたいと思います。



☆三重野 洋造パパ先生（年長ほし組保護者）

昨年はなかなか時間が作れず、今回初めて参加することが出来ました。昆虫太極拳と一緒に踊ったり、綱引きや玉入れをしたりと普段、家ではあまり見ない息子の真剣な表情や沢山の子どもの達の笑顔を見ることができ、とても幸せな気持ちになりました。また、お友達のパパとお話しする機会もあり、大変有意義な一日となりました。

☆工藤 直人パパ先生（年少ゆき組保護者）

上の子の時（長男）の時にパパ先生をさせて頂き大変楽しかったのですが、また参加させて頂きました。最初は少し緊張していましたが、いろいろな遊びを通して、年少さんの可愛さ、年中、年長さんの元気の良さ、そして我が子の園での様子が垣間見られました。正直片手での綱引きは大変でしたが・・・またリベンジをさせて頂きたいと思っています。

☆江上 俊介パパ先生（年長つき組保護者）

息子が五月頃から「パパ先生に来て」とずっと言っていました。今回仕事の都合が付き、参加することが出来ました。昆虫太極拳が楽しくて家に帰って息子と一緒に練習しました。息子も楽しくて汗びっしょりになって練習しています。今回、パパ先生に参加して息子が幼稚園で楽しく過ごし、お友達とも笑顔で遊んでいる姿に安心しました。

☆吉岡 秀樹パパ先生（年長つき組保護者）

今回、初めてのパパ先生でした。子ども達の真剣で楽しそうな姿、息子のお友達と触れ合う姿を見て成長を感じることができ、有意義な時間を過ごすことができました。たくさん笑顔を見て、こちらにも元気を頂きました。機会があればまた参加したいと思います。

☆宇都宮 恒司パパ先生（年長つき組保護者）

毎会楽しみにしているパパ先生ですが、今回で六回目になりました。年少の頃を思い出すと身体も心も成長したことに驚かされます。今では、抱き上げるのに、ずっしりと重たく大変です。残すところ後2回のパパ先生ですが、皆勤賞目指して頑張ります。

☆越智 淳平パパ先生（年中そら組保護者）

梅雨の晴れ間にも恵まれ、短くも楽しい時間を過ごすことができました。昆虫太極拳はだんだん速くなるリズムにあわせてポーズをとっていき、最後までできた子どもたちは誇らし気に私に顔を向けてきました。どの競技もたくさんの輝く笑顔と触れ合うことができました。時間の都合でリレーができなかったのが残念でした。

☆大久保 直幸パパ先生（年少ひかり組保護者）

初参加でした。子どもがどのような園生活を送っているのか見ることが出来て、良い時間を過ごせました。また、子どもがよく口にするお友達と会う事も出来たので次回も参加させて頂きたいと考えております。今回のようなイベントを企画・準備して頂きありがとうございます。

☆渡邊 賢明パパ先生（年少はな組保護者）

久しぶりに参加させて頂きました。子ども達の元気と笑顔に触れて、とても充実した時間となりました。私が接した子ども達は、とても人なつっこくて、どんどん話しかけてくれました。玉入れでは、なかなか勝てなかったのですが、三回目の対戦で、私が「よし、みんなががんばって勝つぞ！」と声をかけると元気よく領いてチャレンジし、勝った時には最高の笑顔を見せてくれました。



「パパ先生、いっぱい遊んでくれてありがとう！」 庄 恵理奈（年少ひかり組担任） 日記

今年度初めての『パパ先生と遊ぼう！』を行いました。今回は、二十二名のお父さん方が来て下さり、子どもたちとたくさん遊んでくれました。とても天気が良く、パパ先生と嬉しそうに体を動かして遊ぶ子どもたちの姿が見られました。

綱引き対決では、何人もの子どもたちを相手に、力自慢のパパ先生が頑張ってくれていました。チーム対抗の玉入れでは、子どもを肩車して存分に触れ合う姿も見られました。今回初めての、「くぐって取って宝取り」では、強いパパ先生を相手にたくさんのお宝を取り、「楽しかった！」と子どもたちも大満足の様子でした。最後にはホールに集まり、パパ先生と一緒にジュースを飲み、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。今回参加していたパパ先生、本当にありがとうございました。 (六月七日)

「もりもりチャンピオン！」

田島 嘉織（年長つき組担任） 日記

食育活動の一つとして、いつも子どもたちが口にしていて様々な食べ物、体にどんな影響を与えてくれているかについて、遊びを通して勉強した、つき組の子どもたち。それからの食事の時間は、「あっ、これ赤の仲間！」「これは、力が出るんだよね！」等と、会話が弾んでいます。食に興味を持ったことをきっかけに、おかわりをする子も増えて、「もりもり食べたけん、もりもりチャンピオン！」と、喜ぶ姿も見られています。食べることの大切さや、楽しさをお友だちと一緒に味わってもらい、健康な体作りを心がけていきたいなと思っています。 (六月九日)



武生 香里（年長なぎさ組担任） 日記

「片付け」

積み木の片付けに、こだわりがあるなぎさ組さん。片付けの時間になると、積み木を手に、「大きいから置いてみよう」「こうした方がいいかも」と、言い合いながら、きれいに片付ける方法を探っています。上手いかないと、共に頭を抱え、上手いだった際には、笑顔で喜び合い：と積み木の片付け一つですが、友だちと意見を共有している姿があります。これからも、様々な遊びや活動の中で、友だちと一つのことに向かって取り組み、共有する経験をしたいと思っています。 (六月十日)

「大人の歯」

松原 はる菜（年長ほし組担任） 日記

最近「先生見て、歯がぐらぐらしよん！」と言って見せてくる子どもがたくさんいます。そんな中、給食を食べている時に「先生・・・歯が抜けた！」とH君が少しびっくりした様子で抜けた歯を持ってきました。数日後、今度はMちゃんが「先生歯が取れた・・・」とまたまたびっくりした様子で歯を持ってきたので「ちゃんとお家に持って帰れるように包んどくね！」と声を掛けると嬉しそうにうなずきました。そして先日、R君が「先生！歯が・・・取れちゃった」と驚いていました。その日の帰りの会で、「歯が抜けると大人の歯がはえてくるんだよ！全部生え変わるんだよ！」などの話をする、「え〜大人の歯になるん？」と驚いていましたが、自分の歯が抜ける事も一つ成長する事と思えたようです。